

科目名 (科目コード)	子どもの健康と安全【1353】 子どもの保健Ⅲ【1344】	配当年次	2	担当教員	岩上 浩美 高畑 みどり	対象 区分	夏期・春期
		単位数	1				
授業の ねらい	1. 小児の成長・発達に応じた適切で実践できる保育・養護の知識と技術の習得 2. 小児の健康状態の観察・異常の早期発見・疾病予防・看護についての知識と技術の習得						
授業の 計 画	<p><1日目>…子どものからだについて理解し、実際に赤ちゃん人形を使って体験学習をする。</p> <p>①乳児の成長発達について、粗大運動・微細運動について月齢での変化を理解する。</p> <p>②子どもの成長発達について、客観的に理解するために行う身体測定について、その意味を理解し、実際に測定してみる。</p> <p>③子ども、特に乳幼児に対する養護（抱っこの仕方、ミルクの飲ませ方、排気の仕方など）についてその意味を学び、実際に赤ちゃんの人形を使用し体験する。</p> <p>④子どもの示す様々な症状について、子どもの身体的精神的特徴を踏まえ、子どもの表現方法を考えながら、その対応方法を学ぶ。</p> <p><2日目>…子どもの病気について理解を深め、実践で生かすことができるようにする。また、より具体的な実践体験を通して、子どもの気持ちを体感する。</p> <p>①子どもの感染症について、子どもの命を守るために保育士ができることを学ぶ。</p> <p>②様々な感染症から子どもを守る予防接種について理解する。</p> <p>③1日目に学んだ養護から沐浴とおむつ交換について赤ちゃん人形を用いて体験し学ぶ。</p> <p>④子どもの食事介助で起こる様々な事故をふまえて、実際に大人が食べさせられる側になって子どもへの食事介助を考える。</p>						
教科書	「子どもの保健Ⅱ」演習 白野幸子著 医歯薬出版株式会社						
持参物	タオル、コップ（陶器でないもの）、スプーン、お茶						
評価方法	全時間への出席を前提とし、受講態度及び、試験により評価する						